

県南広域本部管内概要



平成27年11月
熊本県県南広域本部

県南広域本部管内概要

目次

I 概況

- 1) 県南広域本部管内の現況 4
- 2) 管内地図 5
- 3) 組織・機構図 7
- 4) 運営方針 10

II 重点取組

- 1) 市町村のまち・ひと・しごと創生総合戦略等の策定支援 14
- 2) 「県南広域本部フードバレー構想推進戦略」に位置づけられた
取組み等の着実な推進 15
- 3) 地域資源を活かした広域的連携による地域振興・観光振興 . . . 17
- 4) 「第五次水俣・芦北地域振興計画」の着実な推進と「第六次
水俣・芦北地域振興計画」の策定 18
- 5) 五木村の振興・球磨川流域の治水対策の推進 20

III データ

- 1) 面積 23
- 2) 人口 23
- 3) 産業と雇用 26
- 4) 農業 28
- 5) 林業 30
- 6) 水産業 32
- 7) 商業 33
- 8) 工業 35
- 9) 港湾 37
- 10) 観光 38
- 11) 基盤整備 40

I 概況

県南広域本部管内の現況

(1) 地勢

- ・熊本県県南地域は八代地域、芦北・水俣地域、人吉・球磨地域の3地域 268,114ha からなり、3市7町5村で構成され、県土の約36%を占めている。
- ・管内の面積のうち78%は森林である。

(2) 人口

- ・平成25年人口動態調査によると、管内人口は28.2万人で県内人口の約15.7%にあたる。
- ・管内人口を年齢3区分別に見ると、年少人口比率が12.7%（県全体13.7%）、老年人口比率が32.2%（県全体27.2%）で、県全体を上回るスピードで少子高齢化が進行している。

(3) 産業

- ・平成22年国勢調査で産業別人口を見ると、第1次産業への就業者が15.5%（県全体10.2%）を占め、特に農業・林業が盛んな地域である。
- ・平成24年度市町村民所得推計によれば、県内総生産額に占める県南地域の割合は14.3%であるが、第1次産業に限ると県内の25.3%を占めている。

(4) 農林水産業

- ・各地域の販売金額1位部門別農家数構成割合を見ると、稲作を除けば八代地域は施設野菜・工芸農作物、芦北地域は果樹類、球磨地域は果樹類・工芸農作物・肉用牛の割合が大きい。
- ・管内の民有林面積は県内の43.0%を占めており、管内林業就業者数1,388人は県内林業就業者数のおよそ半分を占めている。
- ・平成25年の管内漁獲量は1,370トンで、県内シェアは6.3%であった。

(5) 商工業

- ・平成24年経済センサス活動調査では、管内の年間商品販売額は383,274百万円で県内の11.9%を占めている。
- ・平成26工業調査(速報)では、管内の製造品出荷額は397,212百万円で、県内に占める割合は16.1%である。
- ・平成26年八代港コンテナ取扱量は18,210TEUで、過去最高の取扱量となった。

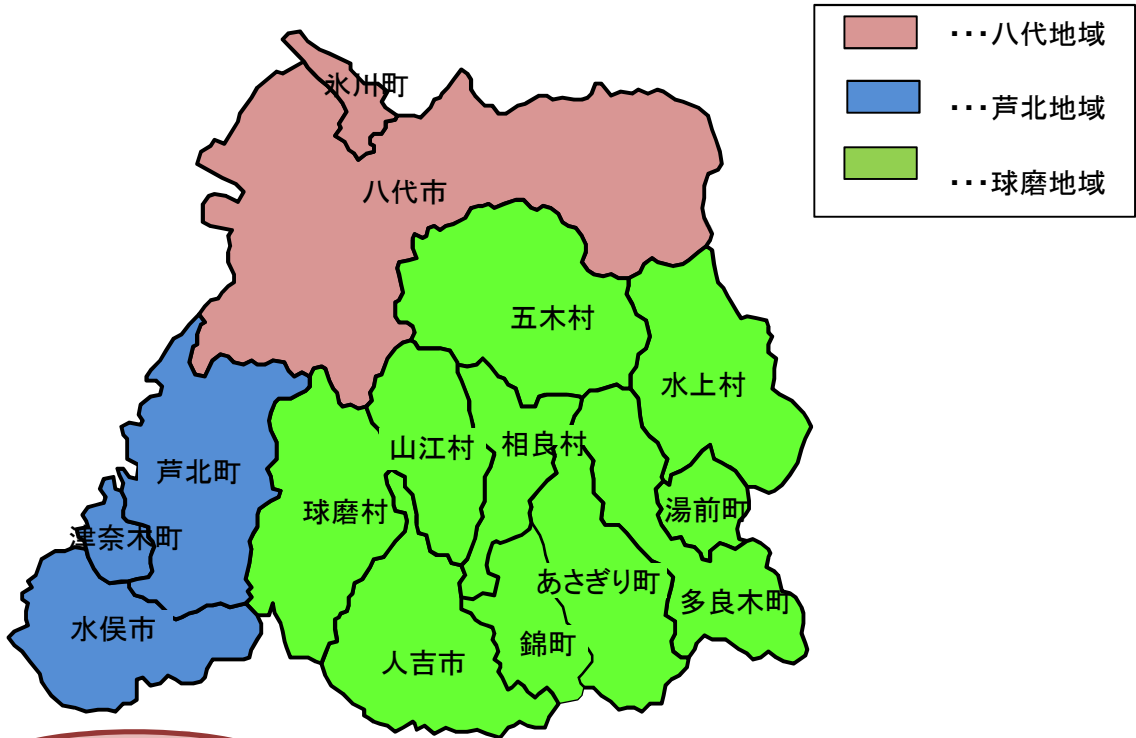
(6) 観光

- ・平成25年熊本県観光統計では、管内を訪問した観光入込客数は9,695千人（県内シェア15.8%）で、うち日帰り客は9,078千人（管内シェア93.6%）であった。
- ・平成21年時と比較すると、観光入込客数は1.15倍（1,298千人増加）、日帰り客は1.16倍（1,269千人増加）となった。

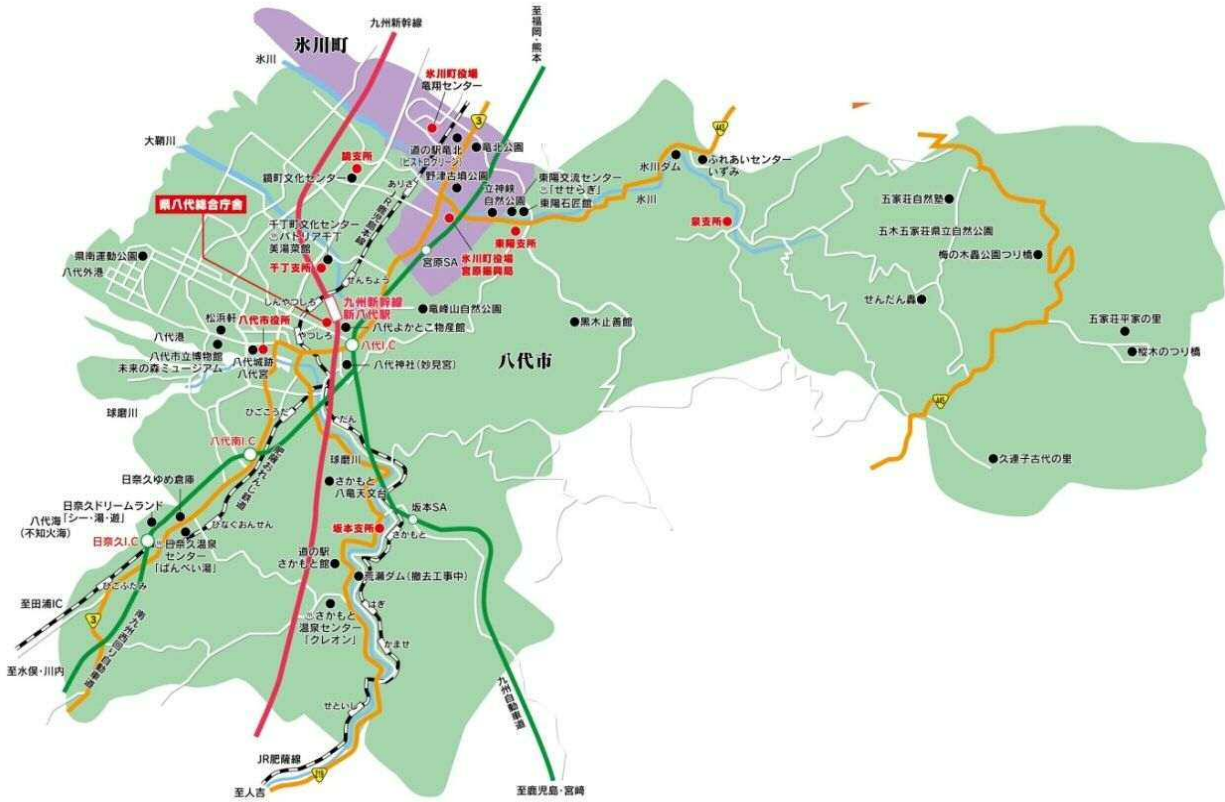
(7) 基盤整備

- ・鉄道は九州新幹線、JR鹿児島本線・肥薩線、肥薩おれんじ鉄道、くま川鉄道が走行している。
- ・道路では九州自動車道の整備が進んでおり、現在八代IC～芦北IC間の供用が開始されている。
- ・港湾は物流拠点として、県内最大の貨物取扱量を誇る八代港を有している。

県南広域本部管内地図

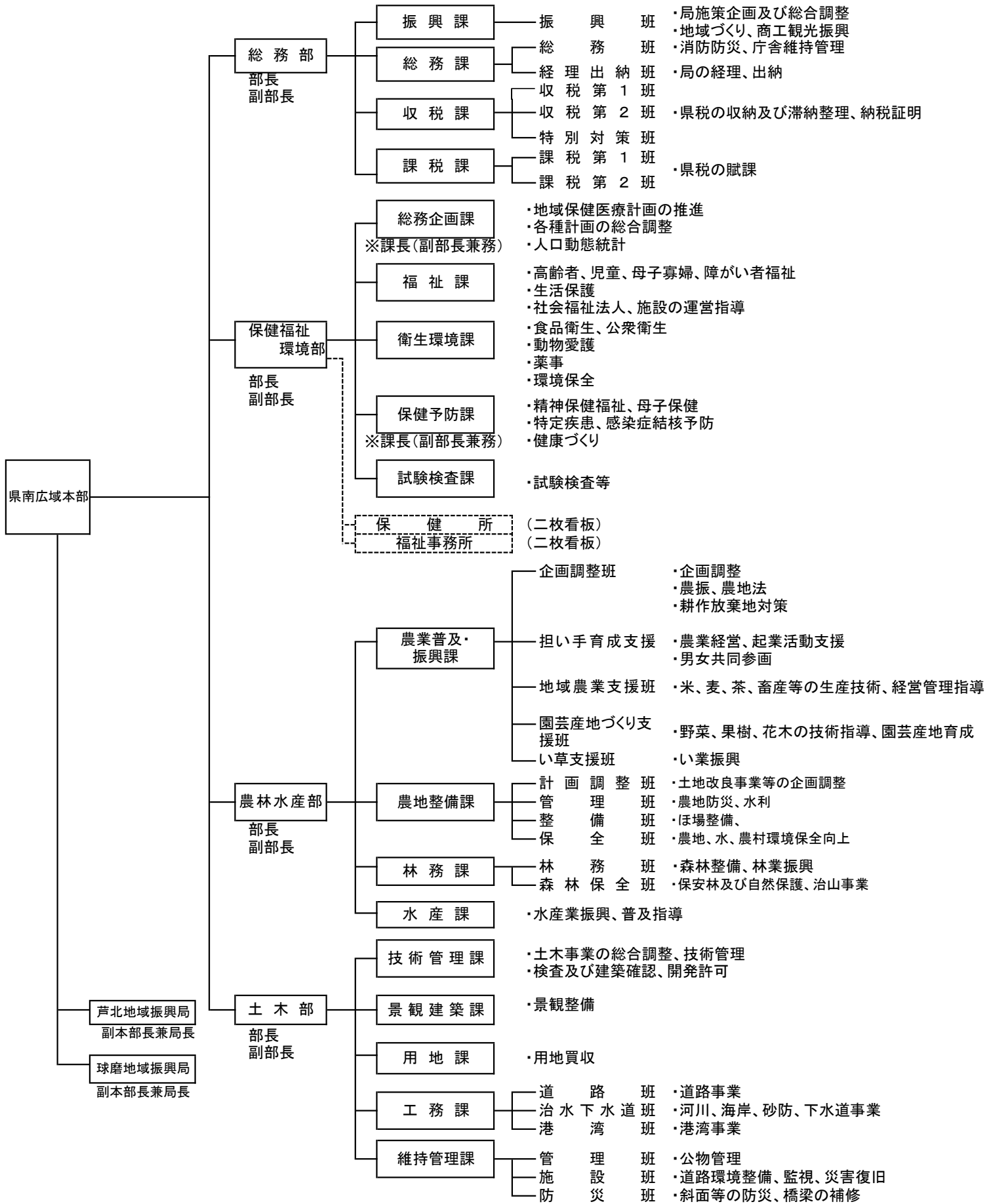


八代地域



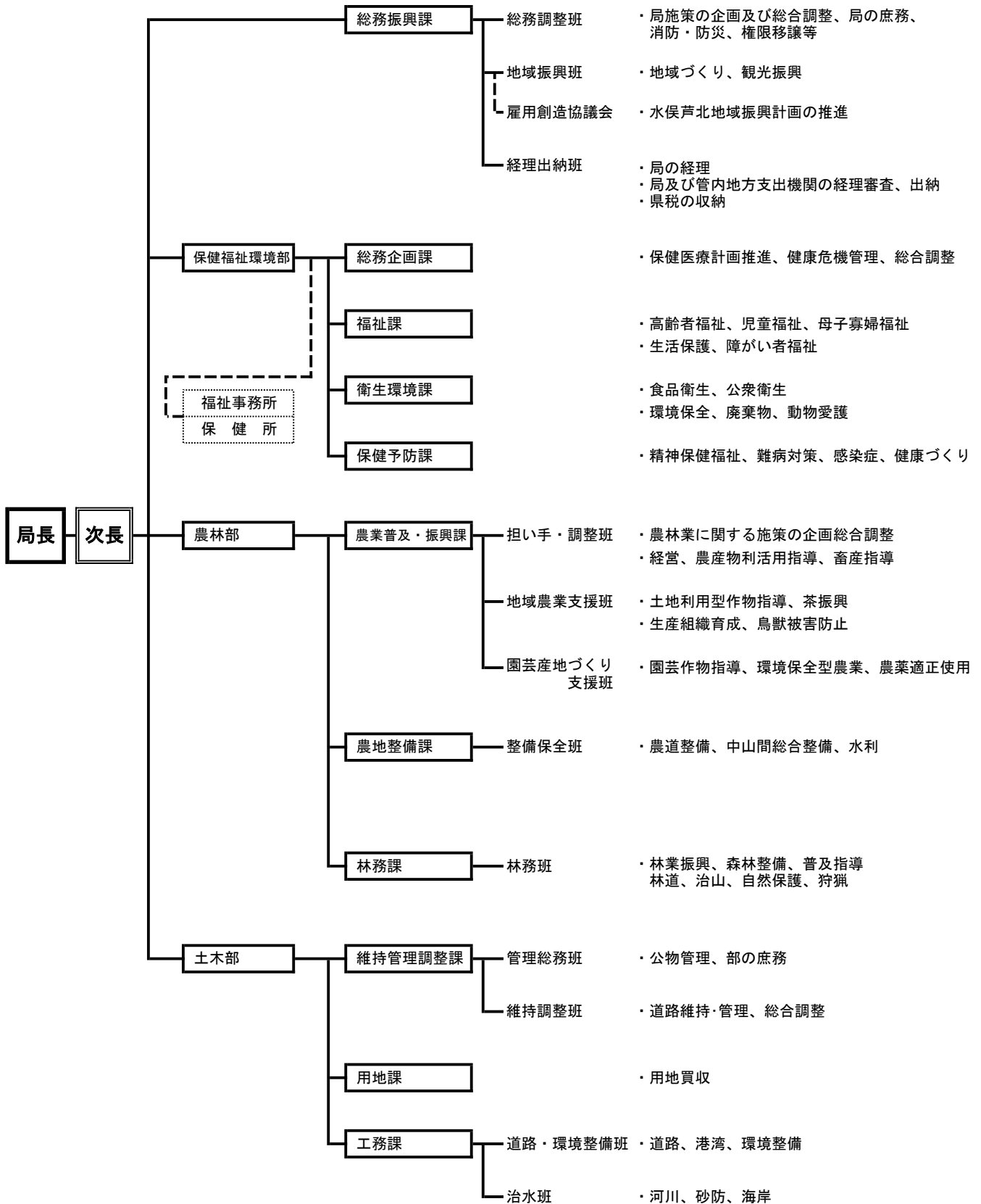
県南広域本部(八代地域振興局)組織・機構図

H27.4.1現在

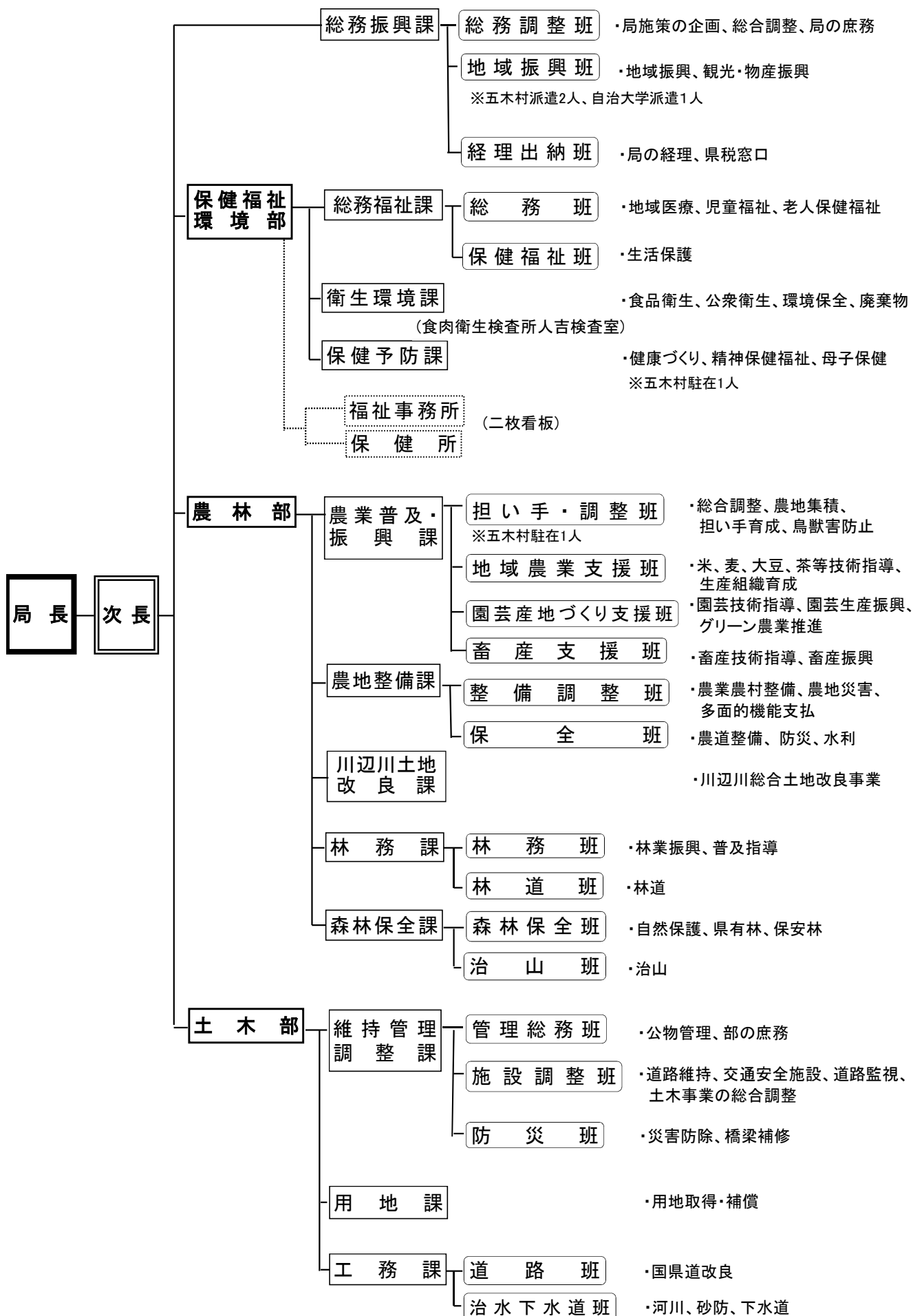


芦北地域振興局組織・機構図

H27.4.1現在



球磨地域振興局組織・機構図



平成27年度県南広域本部運営方針

H27. 4. 1 県南広域本部

1 基本的な考え方

県南広域本部は、県政の基本方針である「幸せ実感くまもと4カ年戦略」及び「政令指定都市誕生後の県内各地域の将来像」に基づき、八代、水俣・芦北、人吉・球磨の3地域が有する優れた地域資源を最大限活用し、連携して地域の活性化に取り組むこととする。

加えて、“人口減少と地域経済縮小の克服”と“まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立”を目指す市町村の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定支援と当該戦略に基づく事業の推進は、県政の新たな重要課題として取組みを進める必要がある。

県南広域本部では、「フードバレーイノベーション～可能性への挑戦～」を旗印に、引き続き事業の重点化を図りつつ、県政の重要課題である「県南振興」、「水俣・芦北地域振興計画」の着実な推進、「五木村の振興」に取り組むこととともに、管内市町村における「まち・ひと・しごと創生総合戦略」等の策定に係る支援等に、総力をあげて取り組むものとする。

2 広域本部体制による業務の推進

広域本部体制の円滑な運営

- ・ 県南広域本部正副本部長会議及び部長等会議において、情報・認識の共有を図りつつ課題へ対応する。
- ・ 危機管理演習等を実施することにより危機管理機能を強化し、県南広域本部で情報を共有しながら、危機事案に迅速かつ適切に対応する。

広域業務の円滑な実施

○効果的・効率的に県民サービスを提供するため、多くの経験と知識を要する広域業務について専門性を高める。

(広域業務の例)

- ・ 広域的な地域振興、観光振興に関する企画、調整
- ・ 県税の徴収、課税
- ・ 保健福祉環境行政に関する企画、調整
- ・ 地域福祉施策の推進
- ・ 社会福祉法人及び施設等の運営指導
- ・ 医療監視

- ・農林水産業に関する施策の企画、総合調整 ・農振除外手続き、農地転用許可等
- ・農地整備に係る企画、計画、調整 ・土地改良事業関係
- ・林務企画関係 ・水産関係
- ・土木工事検査 ・市町村の土木技術に関する指導、助言 等

○大規模災害発生時等における県南広域本部の支援体制を整備するなど、有事の際の動員力、機動性を確保する。

○上記2項目に加え、地域に密着することにより、県民サービスの向上を目指す。

業務改善への積極的な取組み

広域本部体制への移行を機に各種業務の見直しを行い、効果的、効率的な業務となるよう、更なる業務改善等に努める。

3 平成27年度県南広域本部重点取組

(1) 市町村のまち・ひと・しごと創生総合戦略等の策定支援

- ・熊本県版地方創生コンシェルジュ制度などに基づき、県南広域本部と地域振興局が連携して市町村の総合戦略等の策定を支援

(2) 「県南広域本部フードバレー構想推進戦略」に位置づけられた取組み等の着実な推進

- ・6次産業化・農商工連携の活発化
- ・生産・流通体制の整備
- ・八代港の活用等による輸出の拡大
- ・首都圏等への販路拡大
- ・県南地域の特性を活かしたブランドの確立
- ・木材利活用の最大化

(3) 地域資源を活かした広域的連携による地域振興・観光振興

- ・くまもと県南広域観光連携推進会議を活用した推進方策等の具体化
- ・大型クルーズ船の寄港により生まれる県南地域における経済効果を最大化するための取組みの推進

- ・肥薩おれんじ鉄道やくま川鉄道等を活用した南九州をにらんだ県境連携を含む広域連携プロジェクトの実施
- ・各地域のビッグイベントなど県南地域の素材を活かした地域振興の推進

(4) 「第五次水俣・芦北地域振興計画」の着実な推進と「第六次水俣・芦北地域振興計画」の策定

- ・シーサイドロードや水俣広域公園整備、南九州西回り自動車道整備の働きかけ
- ・水俣・芦北地域雇用創造協議会を通じた産業振興、雇用創出
- ・第六次水俣・芦北地域振興計画の策定のための取組み

(5) 五木村の振興・球磨川流域の治水対策の推進

- ・「ふるさと五木村づくり計画」や「五木村生活再建基盤整備計画」の着実な実施
- ・国道445号等幹線道路の改良及び新規林道の開設支援
- ・河川改修等による球磨川流域の治水対策の推進

II 重点取組

1. 市町村のまち・ひと・しごと創生総合戦略等の策定支援

◇取組の概要

日本では、2008年をピークに人口減少の局面に入っています。少子高齢化の進展に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住よい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくために、まち・ひと・しごと創生に関する施策を総合的かつ計画的に実施するため、平成26年11月28日に「まち・ひと・しごと創生法」が公布されました。市町村は、法第10条において、国・県の総合戦略を勘案して、市町村版まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に努めることとされています。

この総合戦略は、地方から大都市圏等への人口流出や少子高齢化の進展による地域活力の低下に対して、市町村が的確に対応するための目標や施策に関する基本的方向等を示すもので、平成27年度から平成31年度までの5年間を対象期間としています。市町村においては、人口の動向（現状分析及び将来展望）や地域の産業の状況等を客観的に分析することに加え、産業・行政・学識・金融・労働・言論など幅広い分野の関係者から意見を聴取し、これまでの施策の反省を踏まえて自らが起草作業を行うこととされています。

県では、各広域本部に熊本版地方創生コンシェルジュを置き、市町村のまち・ひと・しごと創生総合戦略等の策定を支援することとしています。

◇今年度の取組

市町村の支援

①総合戦略等策定支援

- ・ 個別訪問による総合戦略等策定支援
- ・ 電話、メールによる各種相談対応
- ・ 市町村の総合戦略策定に係る推進会議（有識者会議）への参画
- ・ 地方創生交付金に係る実施計画書等の作成支援

②県の総合戦略等との調整

県の総合戦略等との調整を図るため、県庁関係課と連携し連絡調整会議を開催。

③広域連携に向けた支援

複数市町村で連携して取り組むことが効果的な施策について、市町村の連携に関する意向を確認しながら、具体的な事業提案を行うとともに、市町村間の意見交換や事業検討の場をコーディネート



広域連携事業（観光分野）に係る協議の様子

2. 「県南広域本部フードバレー構想推進戦略」に位置付けられた取組み等の着実な推進

◇背景

県では、県南地域（八代地域、水俣・芦北地域、人吉・球磨地域）の豊富な農林水産物を活かし、「食」に関連した産業の振興を図ることで県南地域の活性化を目指す「くまもと県南フードバレー構想」を平成25年3月に策定しました。

県南広域本部は、地域に密着した最前線基地として、事業者等と連携を密にし、現場の実情に応じた機動的かつ効果的で核心を突いた活動を進める必要があることから、「県南広域本部フードバレー構想推進戦略」を平成26年3月に策定し、各種取組みを進めています。

◇戦略の内容

「くまもと県南フードバレー構想」に掲げられた4つの取組みの方向性ごとに、県南広域本部が実施していく取組みを位置付けました。

【4つの取組みの方向性】

- ① 6次産業化・農商工連携による地域内生産物等の高付加価値化
- ② 地域内生産物等を活かす企業・研究開発機能等の集積
- ③ アジアとの貿易拡大・首都圏等への販路拡大
- ④ 人材育成の強化・推進体制の構築

なかでも、次の6つの施策を「重点項目」として、優先的かつ重点的に取組みを進めています。

（1）6次産業化・農商工連携の活発化

八代地域における生姜、晩白柚等の商品開発、水俣・芦北地域における柑橘類等を活用したゼリー・ジュース等の商品開発、人吉・球磨地域における薬草「ミシマサイコ」の契約栽培拡大・栽培技術確立等により、県南地域の農林水産物を活用した商品開発等が数多く行われることを目指します。

（2）生産・流通体制の整備

ICT活用による農産物の生産出荷システム確立への支援、加工用露地野菜（ホウレンソウ等）の安定生産体系の確立、需要に即した米づくりの推進（大関米等の精米施設）等により、農産物等の安定的生産や集・出荷体制の整備、効率化を目指します。

（3）八代港の活用等による輸出の拡大

アジアに向けた農産物等の輸出促進、事業者の海外展開への支援（商談会）、木材の輸出促進に向けた情報収集・発信等により、県南地域の農産物、木材等について八代港の活用等による、アジアを中心とした海外への輸出が活発に行われることを目指します。

（4）首都圏等への販路拡大

東京オリンピック開催に向けたイグサ製品の利用推進、首都圏等での商談会出展支援、球磨焼酎の販路拡大等により、首都圏・関西圏・福岡都市圏等の大消費地において、県南地域の生産物の認知度を向上させ、シェアの拡大を目指します。

(5) 県南地域の地域特性を活かしたブランドの確立

県南地域それぞれの地域特性に応じた特徴ある作物を活かして、生産・流通体制整備から他の商品との差別化、販路拡大まで一貫して戦略的に推進することで、ブランドの確立を目指します。

ブランドの確立にあたっては、晩白柚、サラダたまねぎ、柑橘類、球磨焼酎等、全国的な認知度が高まりつつある生産物等については、熊本を代表するブランドとして育つよう、さらなる取組みの強化を図ります。

また、クマモト・オイスター、茶、柿（太秋）等については、県南地域の新たなブランドとして確立するため、生産体制の強化や認知度の向上等に取り組めます。

(6) 木材利活用の最大化

広大な森林を有する県南地域において、木材生産、流通、加工といった「木材の供給と需要」の状況を把握するとともに、木質バイオマス（農業用加温機、発電等）といった新たな木材利用も含め、木材利活用の最大化を目指します。そのため、安定した木材供給体制の構築、木質バイオマスの利活用や木材輸出など木材利用の促進等に取り組めます。

3. 地域資源を活かした広域的連携による地域振興・観光振興

◇取組の概要

県では、平成24年度から「政令指定都市誕生後の県内各地域の将来像(ビジョン)」の実現に向け、複数の市町村等が連携・協働する広域的な取組みを総合的に支援する「広域連携プロジェクト(スクラムチャレンジ)推進事業」を実施しています。県南広域本部においても、県南3市による「くまもと県南連携観光客誘致・物産振興事業」を継続して支援しているほか、広域本部政策調整事業などにより広域的な地域振興の取組を実施しています。

また、観光に関しては、これまで県南各地域でそれぞれ取り組まれてきた観光振興策に加えて、県南地域の観光資源を有機的に活用した連携の取組みを強化することにより、更なる交流人口の拡大と滞在型観光の増大を図るとともに、八代港への海外大型客船の受入れや南九州西回り自動車道の南進など、新たな飛躍へのチャンスに連携して対応していくために「くまもと県南広域観光連携推進会議」を設置し(平成26年7月)、広域的観光振興の取組を開始しました。



◇今年度の取組み

(1) 広域的連携による地域振興に対する支援

スクラムチャレンジ推進補助金事業として、昨年度に引き続き以下の事業を採択

ア. くまもと県南連携観光客誘致・物産振興事業

県南地域の観光地売込活動(活動費、パンフ作成費)及び八代港における県南地域物産展開催による歓迎おもてなしの事業

(補助額: 2,400千円)

イ. 人吉球磨資源磨き上げ・着地型観光商品開発事業

一定のコンセプトに沿った、現地集合・現地解散型の観光商品を複数開発し、「時感の旅」と銘打ち、販売を行う事業

(補助額: 1,907千円)



八代港での物産展の様子

(2) くまもと県南広域観光連携推進会議

当会議については、各構成機関が来年度以降の事業展開において連携が図れるよう、会議の場を使って情報共有等を実施します。特に、来年度から新型交付金を活用して広域観光連携推進事業を実施できるよう、来年度当初予算編成に向けて、15市町村の調整を実施しています。

4. 「第五次水俣・芦北地域振興計画」の着実な推進と 「第六次水俣・芦北地域振興計画」の策定

◇取組の概要

水俣芦北地域振興計画

熊本県は、昭和53年6月の閣議了解「水俣病対策について」に基づき、水俣・芦北地域振興計画を策定し環境復元事業や、社会基盤の整備、地域コミュニティの再生などに取り組んできました。

第五次水俣芦北地域振興計画

平成23年度から平成27年度までの5カ年を計画期間とする第五次計画では、これまでの四次にわたる計画で推進してきた施策、事業はもとより、当地域の厳しい経済、雇用情勢を踏まえ、地域住民が安心して生き生きと暮らしていけるよう、環境に対する高い住民意識や蓄積された環境産業技術、美しい自然や豊富な地域資源などを活かして、環境への負荷が少ない持続的に発展する地域づくりに取り組むこととし、3つの目標を定めて当地域の再生と振興を目指すものです。

◇第5次水俣・芦北地域振興計画の取組み

目標1 産業振興と雇用確保による活力ある地域づくり

- ・雇用創造協議会による地域雇用の創造
- ・地域一体となった体験・交流型観光の推進
- ・特色ある農林水産業の振興
- ・南九州西回り自動車道、シーサイドロード等の整備



マガキの試験養殖

目標2 医療・福祉の充実等による安全・安心な暮らしの確保

<水俣病被害者への生活支援>

- ・ケアホーム建設等による胎児性・小児性水俣病患者等への支援の充実
- ・水俣・芦北地域水俣病被害者等保健福祉ネットワークの充実
- ・健康管理事業の実施
- ・医療事業の実施

<安全・安心な暮らしの確保>

- ・水俣・芦北地域見守り活動等の支援
- ・障がい者相談支援事業所の機能強化・水俣病発生地域全体の福祉の向上

<医療体制の充実>

- ・へき地や過疎地域への医師派遣
- ・へり救急搬送体制の充実や地域医療の体制の整備
- ・訪問診療、訪問看護などの在宅医療の提供体制の整備



H25年度に設備されたケアホーム

目標3 人が集い自然豊かな地域イメージの確立

<地域の再生・融和の促進>

- ・胎児性水俣病患者の学校訪問等による水俣病問題の啓発
- ・水俣病資料館・環境センターによる国内外への情報発信
- ・県立大学と国立水俣病総合研究センターの連携大学院協定を通じた水俣市への知の集積支援

<水銀フリー社会の実現>

- ・水銀含有製品の使用削減の推進
- ・国内外における普及啓発・情報発信
- ・留学生を通じた国外への情報発信（県立大学と国水研の連携大学院への留学生に対する奨学金制度）



胎児性水俣病患者の方々の学校訪問の様子

◇今後の取組み

第六次水俣芦北地域振興計画の策定

- ・県では、五次にわたる水俣・芦北振興計画に基づいた地域の振興を図ってきましたが来年5月で公式確認から60年を迎える水俣病問題はいまだ解決に至っておらず多くの課題を抱えています。
- ・そこで、県では平成28年度から32年度までの5年間を期間とする「第六次水俣・芦北地域振興計画」を策定しました。
- ・地元市町や各種団体と共に策定した第六次計画では下記の4つの目標に向かって取組みを行っていきます。

目標1 高い付加価値を生む産業づくり

目標2 地域を担う人材づくり

目標3 地域で暮らす安心づくり

目標4 地域の活性化を支えるまちづくり

5. 五木村の振興・球磨川流域の治水対策の推進

◇取組の概要

県では、平成20年9月の定例県議会における知事の川辺川ダム計画の白紙撤回と五木村振興の表明を受け、五木村の振興とダムによらない球磨川流域の治水対策の推進に取り組んでいます。

◇五木村の振興について

ふるさと五木村づくり計画

五木村振興について、平成21年9月村と県が共同でH21年からH30年までの10年間を期間とする振興計画「ふるさと五木村づくり計画」を策定し、この計画に基づいて村の振興に取り組んでいます。

計画では、基本的な施策の方向性として、3つの柱を設定しています。

- I 雇用の拡大や所得の向上をめざす「働く場づくり」
- II 安心して住み続けられるむらづくりをめざす「暮らしづくり」
- III 村の振興を支える人材育成をめざす「ひとづくり」

この3つの柱をもとに隣接する人吉・球磨地域、八代地域と広域的に連携しながら施策の実現を図ります。

今年度の取組み

先述の施策の方向性に従い今年度は以下のような取り組みを行います。

＜I. 働く場づくり＞

【観光・交流の促進】

- ◎水没予定地内に今後整備される観光農園、キャンプ場等の運営体制を検討
- ◎バンジージャンプやカヤック等、アウトドアスポーツの円滑な実施

【農林水産業の振興】

- ◎中間土場の整備による木材流通の効率化、次世代林業システムを契機とした森林施業の集約化、移住・定住支援策と連携した林業従事者の確保・育成
- ◎くまもと県南フードバレー構想を踏まえ、6次産業化や農林水産業、食品関係企業の村内進出を支援

【商工業の振興】

- ◎村の特性を踏まえた企業誘致の推進
- ◎小水力発電の運用体制や売電益の活用方策の検討
- ◎(株)子守唄の里五木の経営改善



バンジージャンプ

<Ⅱ.暮らしづくり>

◎空き家バンクの活用、村営住宅、林業従事者専用住宅の整備等により子育て世代の移住・定住促進



空き家を改修した移住者用住宅

<Ⅲ.ひとづくり>

◎熊本県立大生による学習支援、タブレット端末などの ICT 技術の活用を通して、子どもたちへの教育を支援



県立大生による学習支援

◇球磨川流域の治水対策について

ダムによらない治水を検討する場

球磨川流域の治水対策について、平成 21 年 1 月に国、県、市町村等を構成員として川辺川ダム以外の治水対策の現実的な手法について検討し、認識を共有することを目的として「ダムによらない治水を検討する場(以下、検討する場)」を設置、開催しました。

平成 27 年 2 月までに 12 回に及ぶ検討を重ね、現時点において現実的な対策を最大限積み上げました。しかし、これらの対策の実施により達成可能な治水安全度は全国の直轄河川の水準と比べ低い水準にとどまるとの検討結果を得ました。

このため、今後、国、県、流域市町村は、全国的に見て妥当な水準の治水安全度を確保するための対策の検討を進めていくこととする。また、検討に当たっては、球磨川として中期的に達成すべき治水安全度の目標を「戦後最大の洪水被害をもたらした昭和 40 年 7 月洪水と同規模の洪水」とし、これまで検討してこなかった対策も含め、考えられる対策を網羅的に対象として「ダムによらない治水」を検討していくこととしました。

球磨川治水対策協議会

検討する場で得た検討結果から設定された目標である治水安全度を達成するため、検討する場を終了し、平成 27 年 3 月新たに国土交通省、熊本県、流域市町村の実務者を構成メンバーとする「球磨川治水対策協議会」を設置しました。

これまでに 2 度の会議を開催し、ダムによらない治水安全度の確保のため検討を引き続き進めています。

Ⅲ データ

(注) 計数は、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

データで見る管内の現況

面積

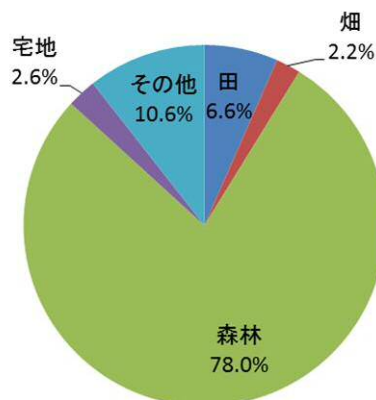
■土地利用

(資料) 土地利用現況把握調査 (県地域振興課、平成 24 年 10 月 1 日現在)

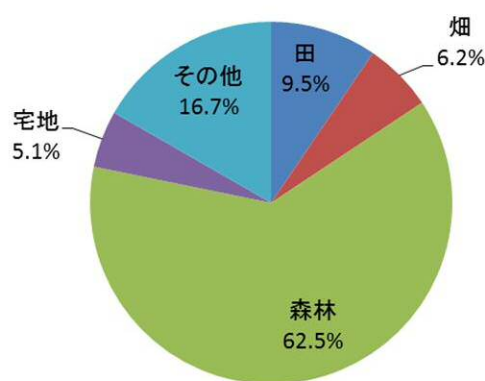
(単位 : ha)

	田	畑	森林	宅地	その他	計
管内計	17,640	5,901	209,173	7,046	28,354	268,114
八代地域	8,220	1,002	50,546	3,169	8,452	71,389
芦北地域	1,358	1,614	32,665	1,028	6,404	43,069
球磨地域	8,062	3,285	125,962	2,849	13,498	153,656
管内/県全体	25.1%	12.9%	45.2%	18.7%	22.9%	36.2%
県計	70,368	45,700	463,066	37,626	123,725	740,485

【管内の土地利用】



【県の土地利用】



人口

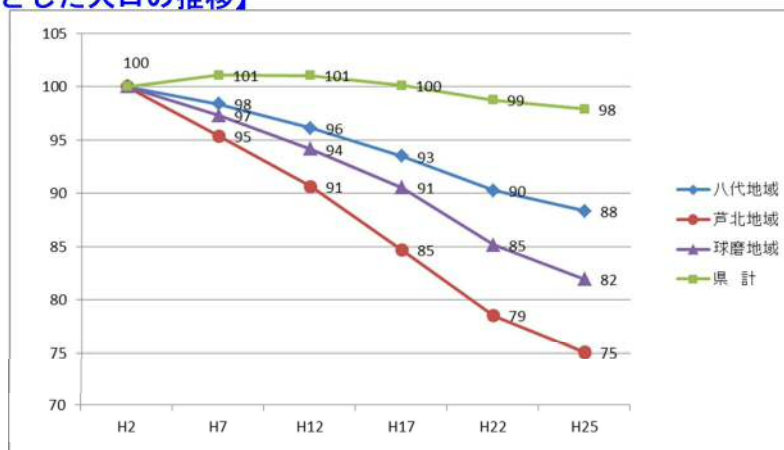
■人口の推移・推計

(資料) 国勢調査 (各年 10 月 1 日現在)、H25 人口動態調査

(単位 : 人)

	H2	H7	H12	H17	H22	H25
管内計	337,233	328,575	318,338	306,196	291,064	282,085
八代地域	160,605	157,999	154,380	150,118	144,981	141,881
芦北地域	65,401	62,379	59,261	55,384	51,356	49,085
球磨地域	111,227	108,197	104,697	100,694	94,727	91,119
管内/県全体	18.3%	17.7%	17.1%	16.6%	16.0%	15.7%
県計	1,840,326	1,859,793	1,859,344	1,842,233	1,817,426	1,801,495

【平成 2 年を 100 とした人口の推移】



○平成 2 年時の人口と比較すると、県全体ではほぼ横ばいで推移しているが、管内はいずれの地域も 10%以上減少しており、特に芦北地域の減少が多い

データで見る管内の現況

■年齢3区分別人口

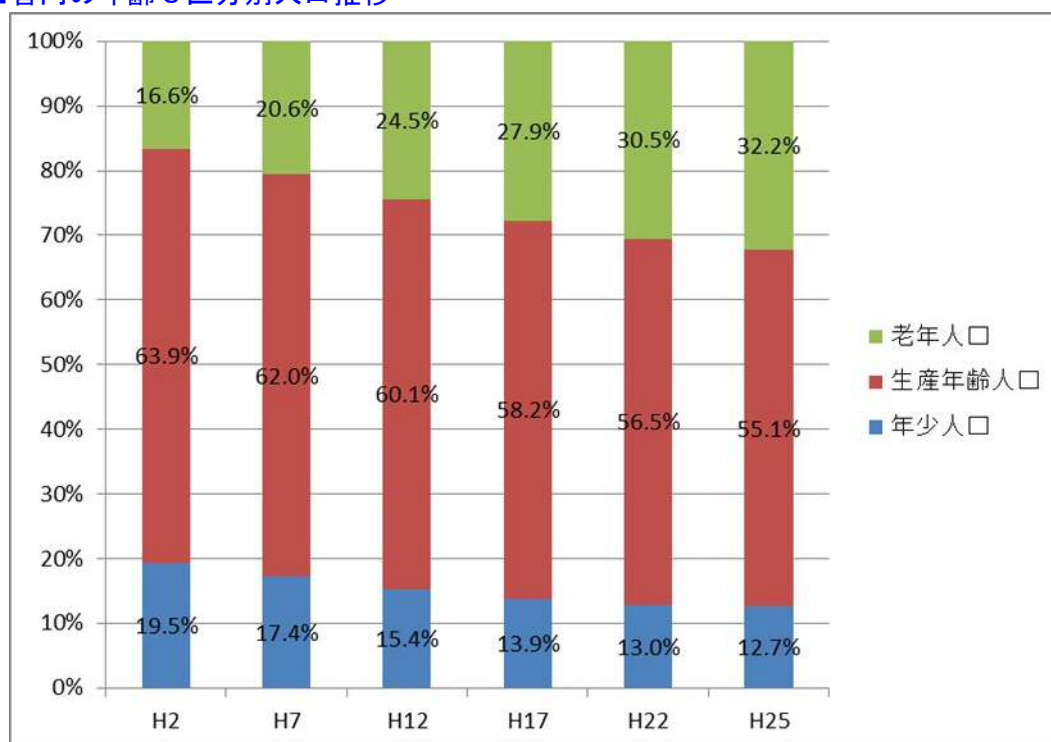
(資料) 国勢調査 (各年 10 月 1 日現在)、H25 人口動態調査
(単位: 人)

		H2	H7	H12	H17	H22	H25
年少人口 (0~14 歳)	管内計	65,613	57,035	49,001	42,571	37,526	35,790
	八代地域	31,033	26,939	23,368	20,585	18,368	17,729
	芦北地域	12,239	10,503	8,760	7,151	6,038	5,681
	球磨地域	22,341	19,593	16,873	14,835	13,120	12,380
生産年齢人口 (15~64 歳)	管内計	215,394	203,733	191,295	178,083	163,671	155,343
	八代地域	105,236	101,377	96,012	90,477	83,866	80,956
	芦北地域	40,491	37,162	34,305	30,887	27,745	25,703
	球磨地域	69,667	65,194	60,978	56,719	52,060	48,684
老年人口 (65 歳以上)	管内計	56,068	67,652	77,919	85,251	88,327	90,952
	八代地域	24,212	29,530	34,919	38,798	41,276	43,196
	芦北地域	12,662	14,714	16,180	17,334	17,563	17,701
	球磨地域	19,194	23,408	26,820	29,119	29,488	30,055
管内計		337,075	328,420	318,215	305,905	289,524	282,085
年少人口比率		19.5%	17.4%	15.4%	13.9%	13.0%	12.7%
生産年齢人口比率		63.9%	62.0%	60.1%	58.2%	56.5%	55.1%
高齢化率		16.6%	20.6%	24.5%	27.9%	30.5%	32.2%

※年齢不詳者を数に含んでいないため、23ページの「人口」の管内計と一致しない。

熊本県	H2	H7	H12	H17	H22	H25
年少人口比率	19.3%	17.3%	15.5%	14.3%	13.8%	13.7%
生産年齢人口比率	65.2%	64.3%	63.1%	61.8%	60.5%	59.1%
高齢化率	15.5%	18.3%	21.3%	23.7%	25.7%	27.2%

■管内の年齢3区分別人口推移



データで見る管内の現況

■ 65歳以上人口の推移

(資料) 国勢調査(各年10月1日現在)、H25人口動態調査
 ※()内は高齢化率(年齢3区分人口総数に占める65歳以上人口の比率)
 (単位:人)

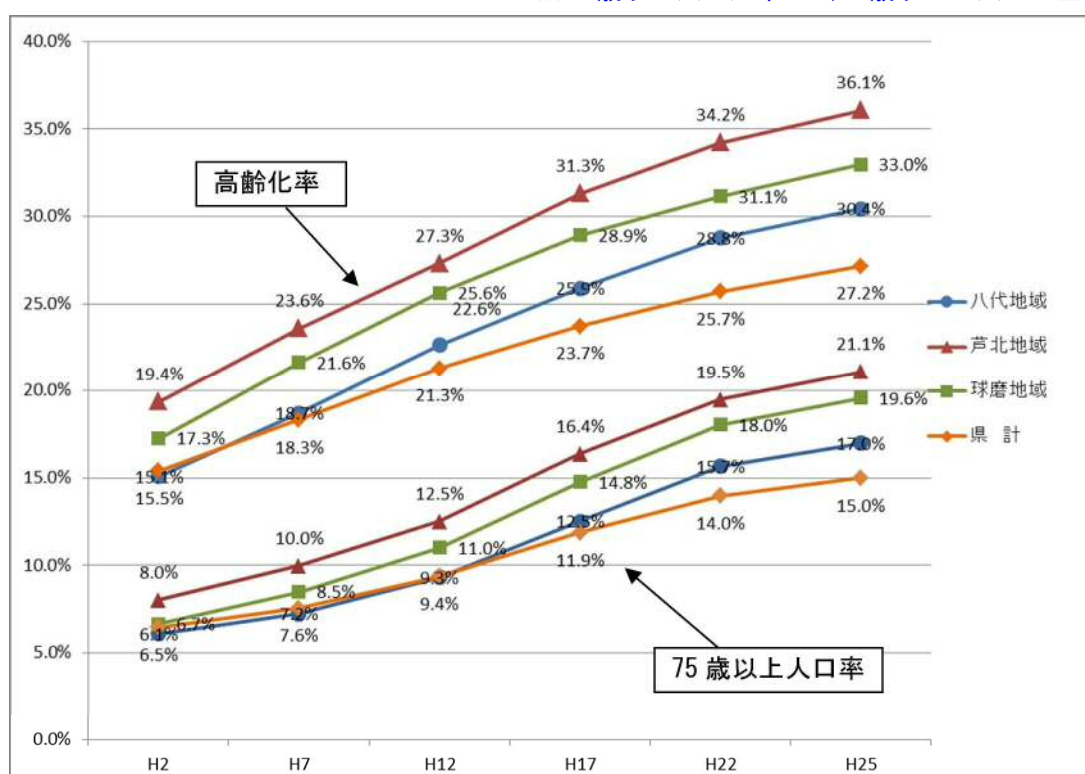
	H2	H7	H12	H17	H22	H25
管内計	56,068 (16.6%)	67,652 (20.6%)	77,919 (24.5%)	85,251 (27.9%)	88,327 (30.5%)	90,952 (32.2%)
八代地域	24,212 (15.1%)	29,530 (18.7%)	34,919 (22.6%)	38,798 (25.9%)	41,276 (28.8%)	43,196 (30.4%)
芦北地域	12,662 (19.4%)	14,714 (23.6%)	16,180 (27.3%)	17,334 (31.3%)	17,563 (34.2%)	17,701 (36.1%)
球磨地域	19,194 (17.3%)	23,408 (21.6%)	26,820 (25.6%)	29,119 (28.9%)	29,488 (31.1%)	30,055 (33.0%)
管内/県全体	19.7%	19.8%	19.7%	19.5%	19.1%	18.6%
県計	284,017 (15.5%)	340,924 (18.3%)	396,020 (21.3%)	437,244 (23.7%)	463,266 (25.7%)	489,355 (27.2%)

■ 75歳以上人口の推移

	H2	H7	H12	H17	H22	H25
管内計	22,457 (6.7%)	26,827 (8.2%)	33,315 (10.5%)	42,692 (14.0%)	49,587 (17.1%)	52,301 (18.5%)
八代地域	9,792 (6.1%)	11,428 (7.2%)	14,374 (9.3%)	18,762 (12.5%)	22,486 (15.7%)	24,100 (17.0%)
芦北地域	5,254 (8.0%)	6,220 (10.0%)	7,424 (12.5%)	9,072 (16.4%)	10,015 (19.5%)	10,361 (21.1%)
球磨地域	7,411 (6.7%)	9,179 (8.5%)	11,517 (11.0%)	14,858 (14.8%)	17,086 (18.0%)	17,840 (19.6%)
管内/県全体	18.9%	19.1%	19.1%	19.5%	19.5%	19.4%
県計	118,958 (6.5%)	140,642 (7.6%)	174,117 (9.4%)	218,699 (11.9%)	253,926 (14.0%)	270,162 (15.0%)

■ 高齢化率、75歳以上人口比率の推移

※高齢化率 = (65歳以上の人口 / 全人口) × 100
 ※75歳以上人口比率 = (75歳以上の人口 / 全人口) × 100



データで見る管内の現況

産業と雇用

■産業別就業人口（15歳以上）

（資料）平成22年国勢調査
（単位：人）

	第1次産業			第2次産業			第3次産業	分類不能	総計
	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	サービス業他		
管内計	18,588	1,388	594	161	11,821	17,971	80,716	1,627	132,866
八代地域	9,514	165	272	38	5,443	9,014	39,455	1,405	65,306
芦北地域	2,155	124	306	43	2,016	3,248	14,191	19	22,102
球磨地域	6,919	1,099	16	80	4,362	5,709	27,070	203	45,458
管内/県全体	24.2%	49.9%	10.8%	36.0%	17.9%	17.0%	14.5%	7.4%	15.9%
県計	76,721	2,782	5,504	447	65,882	105,570	555,227	22,111	834,244

【管内の産業別人口の構成比】



【県内の産業別就業人口の構成比】

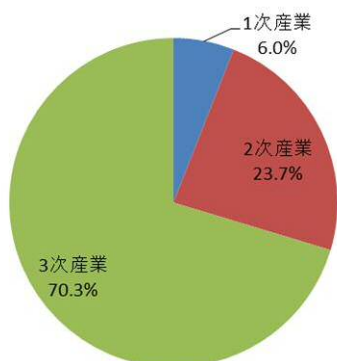


■産業別総生産額

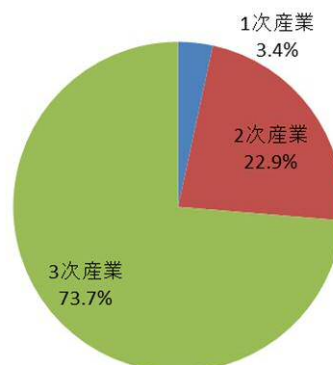
（資料）平成24年度市町村民所得推計
（単位：百万円）

	第1次産業			第2次産業		第3次産業	関税等 加除	総計
	農業	林業	水産業	鉱工業	建設業	サービス業他		
管内計	43,289	3,705	968	134,949	54,686	563,672	5,962	807,231
八代地域	27,953	840	206	78,248	22,149	283,405	3,072	415,873
芦北地域	3,438	575	458	26,104	13,349	95,311	1,036	140,272
球磨地域	11,897	2,290	304	30,597	19,188	184,956	1,855	251,086
管内/県全体	26.5%	39.8%	5.9%	13.7%	18.1%	13.7%	14.3%	14.3%
県計	163,594	9,318	16,469	983,815	301,923	4,128,506	41,698	5,645,323

【管内の産業別構成比】



【県内の産業別構成比】



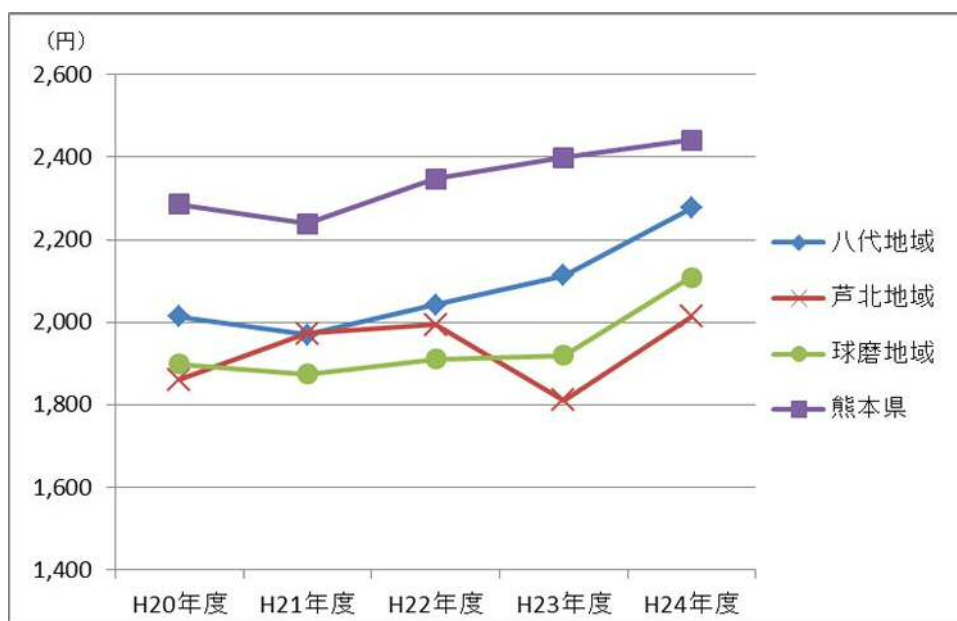
※産業別構成比は関税等加除前のもの

データで見る管内の現況

■一人当たりの所得

(資料) 平成24年度市町村民所得推計 (単位: 千円)

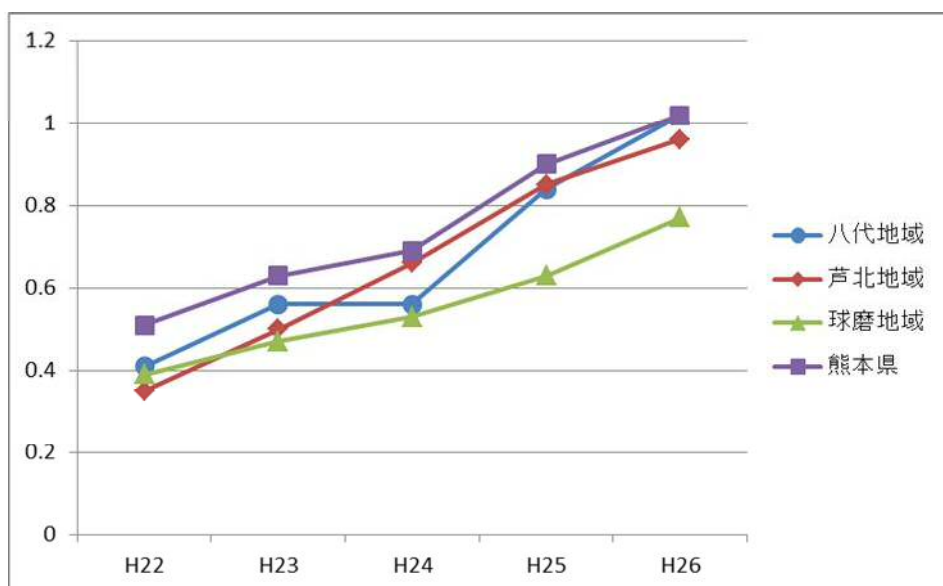
	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
管内計	1,949	1,939	1,991	1,997	2,176
八代地域	2,014	1,969	2,042	2,113	2,277
芦北地域	1,860	1,973	1,993	1,811	2,013
球磨地域	1,899	1,875	1,911	1,919	2,109
熊本県	2,285	2,239	2,347	2,399	2,441



■有効求人倍率の推移

(資料) くまもと職業安定業務月報

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
八代地域	0.41	0.56	0.56	0.84	1.02
芦北地域	0.35	0.5	0.66	0.85	0.96
球磨地域	0.39	0.47	0.53	0.63	0.77
県全体	0.51	0.63	0.69	0.9	1.02
全国	0.56	0.68	0.82	0.97	1.11



データで見る管内の現況

農業

■農家数

(資料) 農業センサス

区分	農家総数			県に占める割合 (%)			増減率 (%)	
	H12	H17	H22	H12	H17	H22	H17/H12	H22/H17
管内計	18,828	17,655	16,090	23.6	23.8	24.1	△6.2	△8.9
八代地域	6,629	6,193	5,660	8.3	8.3	8.5	△6.6	△8.6
芦北地域	3,939	3,627	3,355	4.9	4.9	5.0	△7.9	△7.5
球磨地域	8,260	7,835	7,075	10.4	10.6	10.6	△5.1	△9.7
県計	79,621	74,240	66,869				△6.8	△9.9

■販売金額1位部門別農家数

(資料) H22 農業センサス

(単位: 戸)

区分	稲作	麦類作	雑穀いも豆類	工芸農作物	露地野菜	施設野菜	果樹類	花き類・花木	その他作物	酪農	肉用牛	養豚	養鶏	養蚕	その他畜産	計
管内計	4,025	14	74	1,213	660	1,319	1,423	165	41	137	454	19	22	0	5	9,571
八代地域	1,562	4	26	751	425	911	271	85	18	11	5	2	4	0	1	4,076
芦北地域	520	0	4	34	88	17	669	25	1	3	35	1	5	0	1	1,403
球磨地域	1,943	10	44	428	147	391	483	55	22	123	414	16	13	0	3	4,092
管内/県全体	21.9%	7.0%	9.4%	59.3%	20.2%	18.4%	23.2%	14.3%	12.3%	20.4%	23.8%	11.7%	21.6%	-	25%	22.6%
県計	18,376	199	788	2,044	3,275	7,184	6,127	1,152	332	670	1,906	162	102	1	20	42,338

【構成割合】

(単位: %)

区分	稲作	麦類作	雑穀いも豆類	工芸農作物	露地野菜	施設野菜	果樹類	花き類・花木	その他作物	酪農	肉用牛	養豚	養鶏	養蚕	その他畜産	計
管内計	42.1	0.1	0.8	12.7	6.9	13.8	14.9	1.7	0.4	1.4	4.7	0.2	0.2	0	0.1	100
八代地域	38.3	0.1	0.6	18.4	10.4	22.4	6.6	2.1	0.4	0.3	0.1	0.0	0.1	0	0.0	100
芦北地域	37.1	0	0.3	2.4	6.3	1.2	47.7	1.8	0.1	0.2	2.5	0.1	0.4	0	0.1	100
球磨地域	47.5	0.2	1.1	10.5	3.6	9.6	11.8	1.3	0.5	3.0	10.1	0.4	0.3	0	0.1	100
県計	43.4	0.5	1.9	4.8	7.7	17.0	14.5	2.7	0.8	1.6	4.5	0.4	0.2	0.0	0.0	100

データで見る管内の現況

■新規就農者

(資料) 県農林水産部調べ (H26 年度)

区分	新規学卒		Uターン		新規参入		計	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	県に占める割合
管内計	19	22.6%	46	54.8%	19	22.6%	84	26.5%
八代地域	13	31.7%	20	48.8%	8	19.5%	41	12.9%
芦北地域	0	0%	2	33.3%	4	66.7%	6	1.9%
球磨地域	6	16.2%	24	64.9%	7	18.9%	37	11.7%
県計	53	16.7%	148	46.7%	116	36.6%	317	

■企業の農業参入数

(資料) 県農林水産部

	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	累計
管内計	2	4	8	5	7	3	29
八代地域	0	0	3	1	3	1	8
芦北地域	1	1	1	0	1	1	5
球磨地域	1	3	4	4	3	1	16
熊本県	11	19	20	21	27	22	119※

※既参入企業のうち1社が本業の業績悪化に伴い営農を停止したため累計で1件減としている

○県南地域の企業で H21 年度～H26 年度間の参入数は県全体の約 24% を占める。

○県南地域の主な参入企業は下記のとおり。

八代地域→H25 株モスフードサービス(トマト)	H26 (有)堀内製油(ゴマ)
芦北地域→H25 南九州センコー(株)(茶)	H26 JNC(株)(ミニトマト)
球磨地域→H25 株あさぎりフレッシュフーズ(栗)	H26 (有)円パーツ(ベビーリーフ)

■畜産飼養頭数

(資料) 平成 26 年度熊本県畜産統計 (単位: 頭・羽・群)

	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	ブロイラー	養蜂
管内計	9,163	28,276	16,163	88,241	731,900	3,008
八代地域	1,054	55	118	1,768	127,000	1,735
芦北地域	153	3,401	5,420	33,396	256,400	355
球磨地域	7,956	24,820	10,625	53,077	348,500	918
管内/県全体	20.3%	21.4%	5.2%	3.7%	20.6%	28.4%
県計	45,064	132,230	310,859	2,409,846	3,544,993	10,577

データで見る管内の現況

林業

■人工林・天然林別面積（民有林）

（資料）平成25年度熊本県林業統計要覧
（単位：ha）

区分	人工林	天然林	その他	計
管内計	118,891	48,085	4,413	171,390
八代地域	27,507	12,416	602	40,525
芦北地域	22,667	5,182	505	28,354
球磨地域	68,717	30,487	3,306	102,510
管内/県全体	49.2%	38.1%	14.5%	43.0%
県計	241,793	126,292	30,392	398,477

■林業就業者数の推移

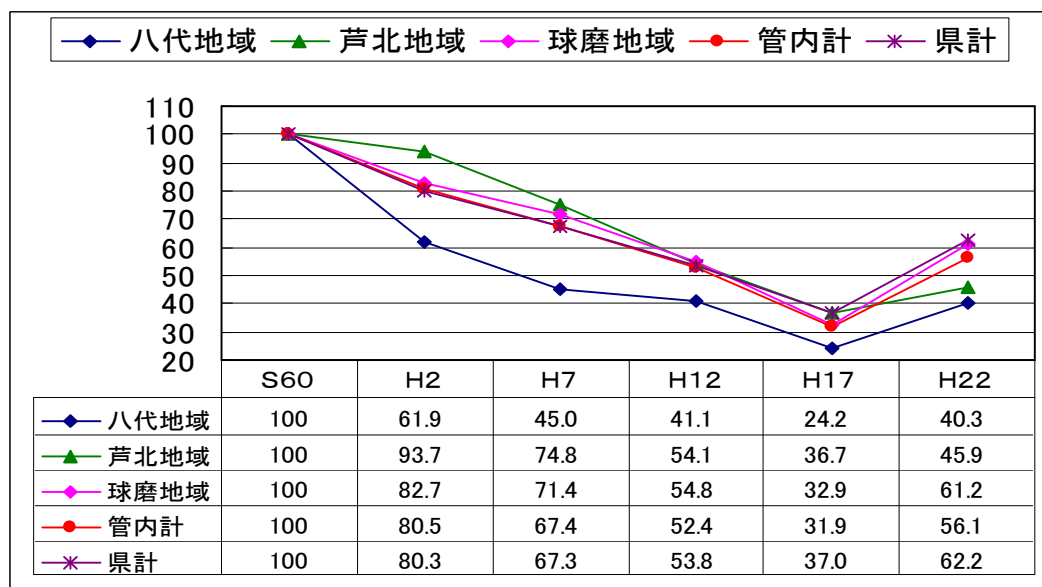
（資料）昭和60年、平成2、7、12、17年は国勢調査の「A林業」、
平成22年は国勢調査の「A農業、林業」と「うち農業」の差
（単位：人）

区分	S60	H2	H7	H12	H17	H22
管内計	2,475	1,992	1,669	1,298	789	1,388
八代地域	409	253	184	168	99	165
芦北地域	270	253	202	146	99	124
球磨地域	1,796	1,486	1,283	984	591	1,099
管内/県全体	55.3%	55.5%	55.5%	54.0%	47.7%	49.9%
県計	4,472	3,589	3,009	2,405	1,655	2,782

※ 国勢調査では、林業就業者は、9月末1週間に主として、林業に従事した者とされている。

平成22年は国勢調査の「A林業、林業」と「うち農業」の差を元にしており、算出方法が異なることから、
数値の比較には注意を要する。

（昭和60年を100とした指数）



データで見る管内の現況

■森林整備の実施状況

【民有林造林実績】

(資料) 熊本県林業統計要覧

(単位 : ha)

	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度
管内計	480	450	416	495	592
八代地域	66	52	121	127	97
芦北地域	34	18	26	31	43
球磨地域	380	380	269	337	452
管内/県全体	57.6%	52.9%	47.9%	61.4%	64.0%
県 計	833	851	868	806	925

【間伐実績】

(資料) 熊本県林業統計要覧

(単位 : ha)

	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度
管内計	6,842	6,541	6,012	4,046	2,987
八代地域	1,041	1,200	773	448	429
芦北地域	1,004	856	750	535	388
球磨地域	4,797	4,485	4,489	3,063	2,170
管内/県全体	52.0%	48.1%	47.9%	43.9%	35.0%
県 計	13,169	13,601	12,555	9,218	8,534

データで見る管内の現況

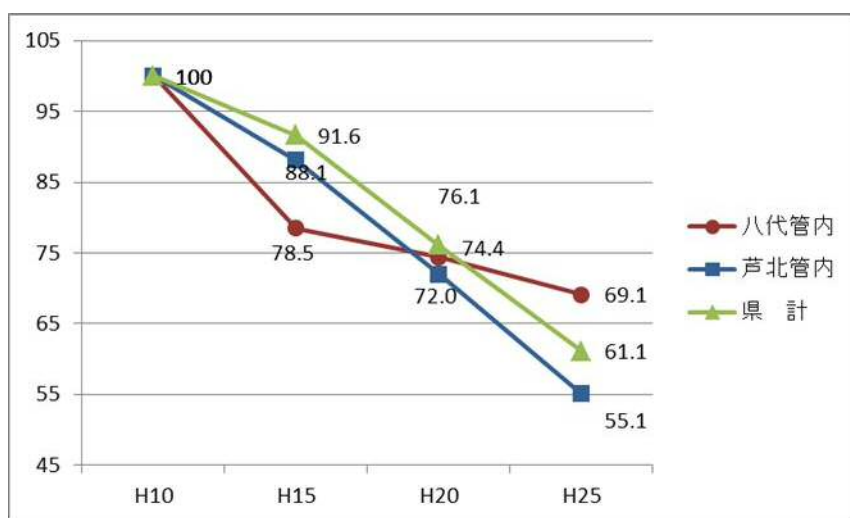
水産業

■市町村別漁業経営体数の推移

(資料) 漁業センサス

	H10	H15	H20	H25
管内計	724	603	530	450
八代管内	363	285	270	251
芦北管内	361	318	260	199
管内／県全体	12.8%	11.6%	12.3%	13.0%
県計	5,671	5,196	4,314	3,467

【平成10年を100とした漁業経営対数の推移】

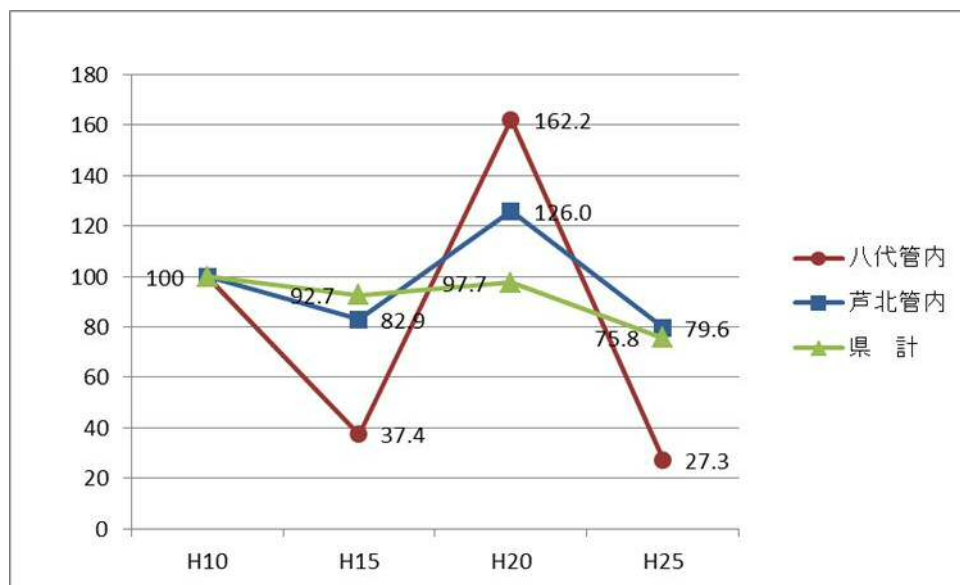


■漁獲量の推移

(資料) 海面漁業生産統計調査 (単位: トン)

	H10	H15	H20	H25
管内計	2,459	1,529	3,504	1,370
八代管内	1,122	420	1,820	306
芦北管内	1,337	1,109	1,684	1,064
管内／県全体	8.5%	5.7%	12.5%	6.3%
県計	28,772	26,668	28,098	21,803

【平成10年を100とした漁獲量の推移】



データで見る管内の現況

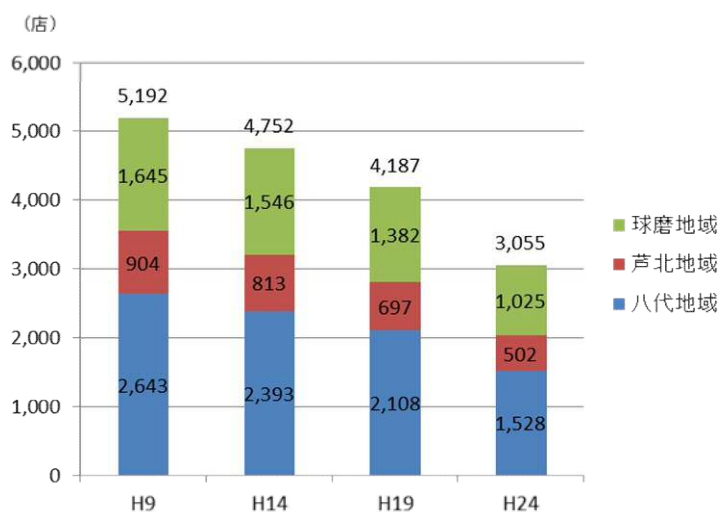
商業

■ 商店数の推移

(資料)H9、H14、H19 は商業統計調査、H24 は経済センサス活動調査
(単位：店)

	H9	H14	H19	H24
管内計	5,192	4,752	4,187	3,055
八代地域	2,643	2,393	2,108	1,528
芦北地域	904	813	697	502
球磨地域	1,645	1,546	1,382	1,025
管内/県全体	18.7%	18.5%	18.2%	18.2%
県計	27,757	25,696	22,976	16,798

※平成24年は経済センサス活動調査を元にしており、算出方法が異なることから、数値の比較には注意を要する。

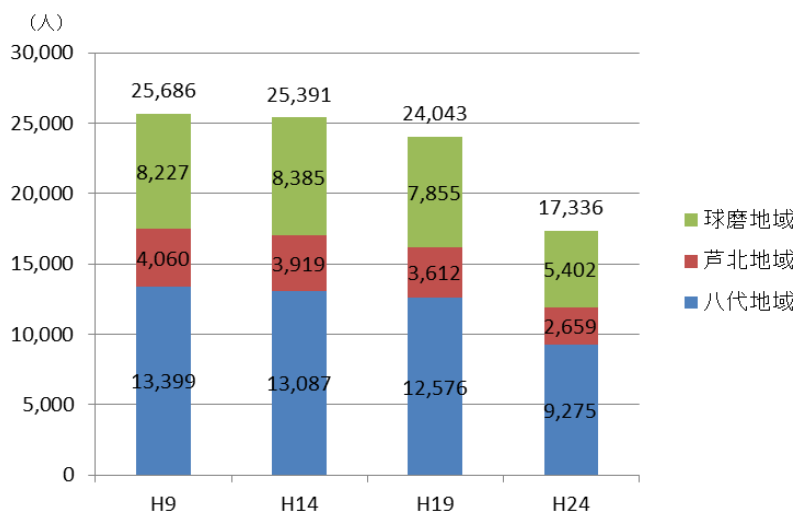


■ 従業員数の推移

(資料)H9、H14、H19 は商業統計調査、H24 は経済センサス活動調査
(単位：人)

	H9	H14	H19	H24
管内計	25,686	25,391	24,043	17,336
八代地域	13,399	13,087	12,576	9,275
芦北地域	4,060	3,919	3,612	2,659
球磨地域	8,227	8,385	7,855	5,402
管内/県全体	16.5%	15.6%	16.0%	15.7%
県計	155,828	162,563	150,135	110,203

※平成24年は経済センサス活動調査を元にしており、算出方法が異なることから、数値の比較には注意を要する。



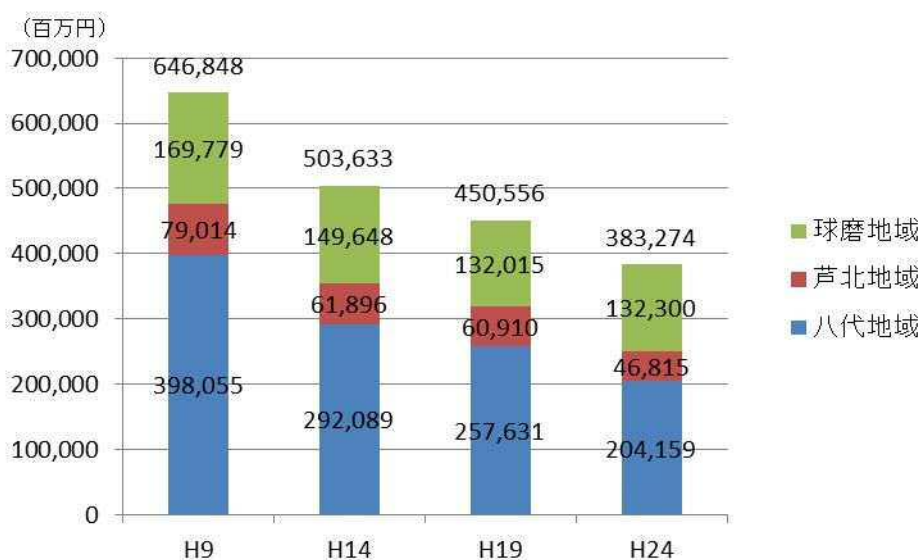
データで見る管内の現況

■年間商品販売額の推移

(資料)H9、H14、H19は商業統計調査、H24は経済センサス活動調査
(単位：百万円)

	H9	H14	H19	H24
管内計	646,848	503,633	450,556	383,274
八代地域	398,055	292,089	257,631	204,159
芦北地域	79,014	61,896	60,910	46,815
球磨地域	169,779	149,648	132,015	132,300
管内/県全体	12.8%	12.0%	11.4%	11.9%
県計	5,052,698	4,184,779	3,950,340	3,222,289

※平成24年は経済センサス活動調査を元にしており、算出方法が異なることから、数値の比較には注意を要する。



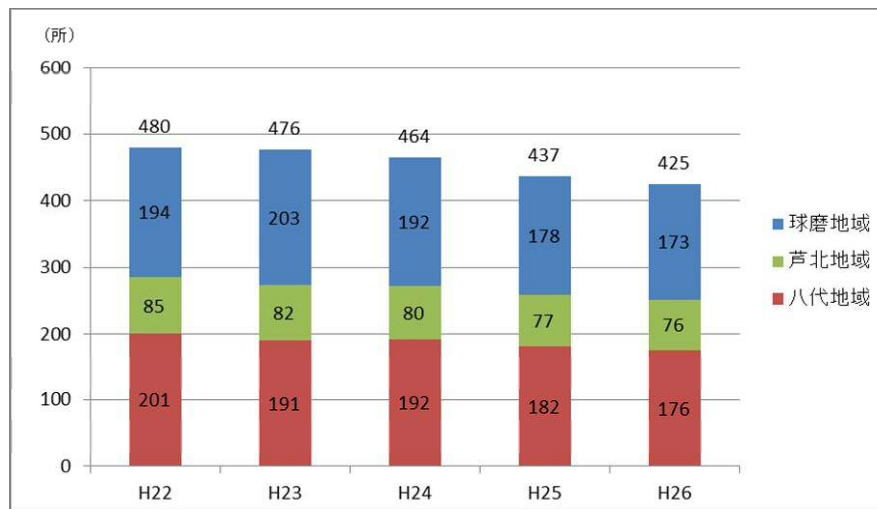
データで見る管内の現況

工業

■製造加工を行っている事業所数の推移 (資料) 工業統計調査 (単位: 所)

※H26の値は速報値

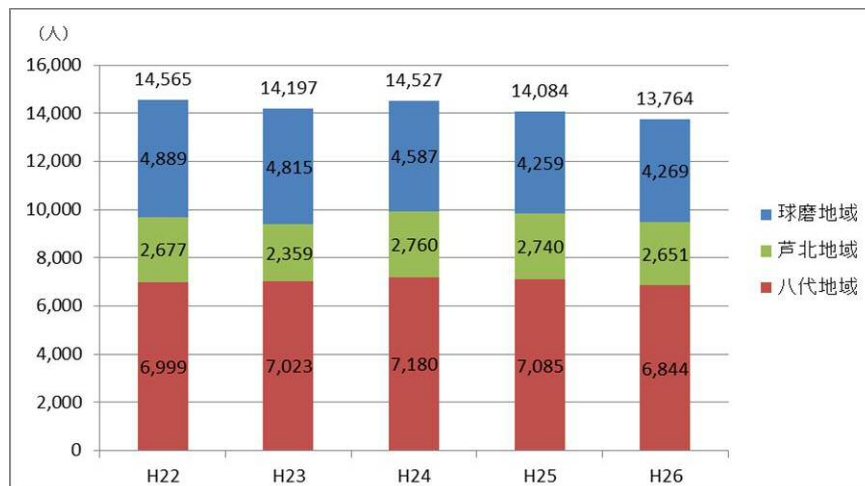
	H22	H23	H24	H25	H26
管内計	480	476	464	437	425
八代地域	201	191	192	182	176
芦北地域	85	82	80	77	76
球磨地域	194	203	192	178	173
管内/県全体	21.6%	20.9%	20.8%	20.1%	20.1%
県計	2,226	2,275	2,234	2,173	2,110



■製造加工を行っている従業員数の推移 (資料) 工業統計調査 (単位: 人)

※H26の値は速報値

	H22	H23	H24	H25	H26
管内計	14,565	14,197	14,527	14,084	13,764
八代地域	6,999	7,023	7,180	7,085	6,844
芦北地域	2,677	2,359	2,760	2,740	2,651
球磨地域	4,889	4,815	4,587	4,259	4,269
管内/県全体	15.8%	15.6%	15.9%	15.3%	15.4%
県計	91,960	90,933	91,189	92,162	89,411



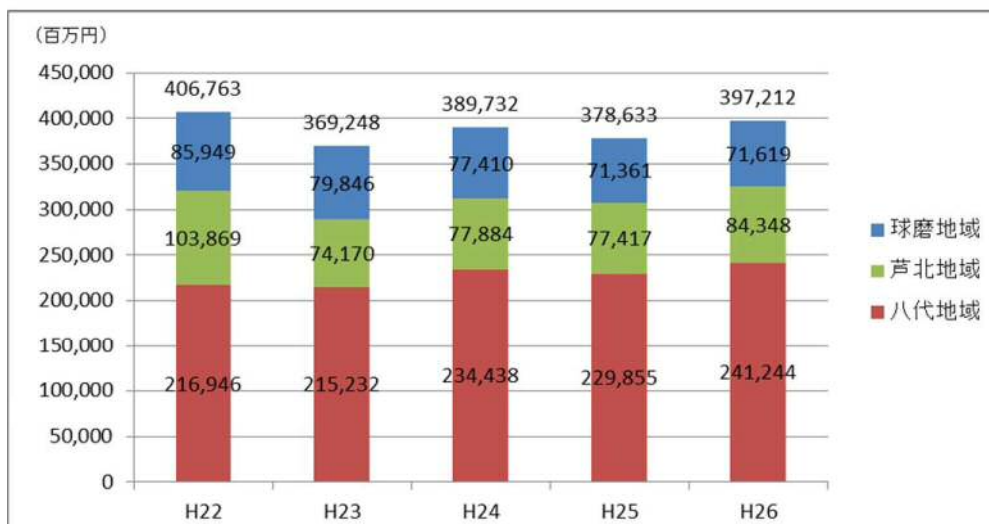
データで見る管内の現況

■ 製造品出荷額の推移

(資料) 工業統計調査 (単位: 百万円)

※H26の値は速報値

	H22	H23	H24	H25	H26
管内計	406,763	369,248	389,732	378,633	397,212
八代地域	216,946	215,232	234,438	229,855	241,244
芦北地域	103,869	74,170	77,884	77,417	84,348
球磨地域	85,949	79,846	77,410	71,361	71,619
管内/県全体	16.1%	14.4%	15.6%	15.9%	16.1%
県計	2,520,937	2,558,691	2,490,354	2,385,012	2,462,256



データで見る管内の現況

港 湾

■ 県内主要港湾取扱貨物実績

(資料) 平成 25 年港湾取扱貨物実績 (県港湾課)

区分	港湾取扱貨物量								乗降人数 (人)	前年度 比
	輸出 (トン)	前年度 比	輸入 (トン)	前年度 比	移出 (トン)	前年度 比	移入 (トン)	前年度 比		
三角港	12,676	53.3%	3,922	190.9%	347,487	176.8%	87,873	115.6%	31,526	90.7%
八代港	166,305	134.4%	1,449,400	94.6%	161,685	91.1%	2,193,986	91.2%	7,982	29.9%
熊本港	44,362	105.0%	60,734	177.7%	140,250	91.2%	542,218	96.5%	1,012,049	106.5%
水俣港	0		70,426	80.0%	9,951	100.5%	66,731	118.3%	10,960	97.0%

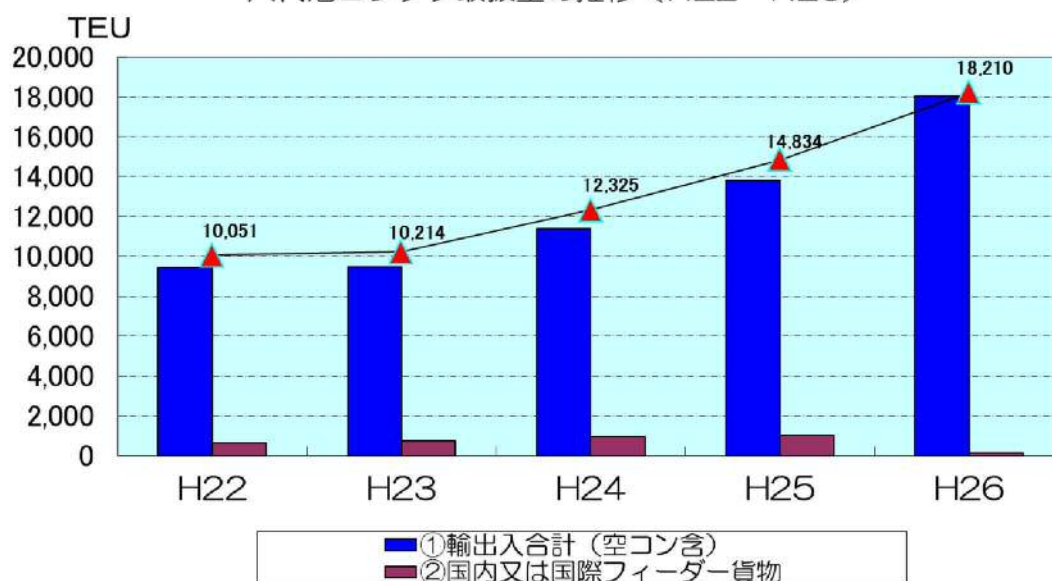
注) 「移出」とは、各港から国内の港へ輸送された貨物。「移入」とは、国内の港から各港へ輸送された貨物。

■ 八代港コンテナ取扱量の推移

(資料) 八代港ポートセールス協議会調べ (単位: TEU)

	H22	H23	H24	H25	H26
輸出 (実入り)	1,930	1,367	1,904	2,954	5,369
輸入 (実入り)	4,130	4,635	5,469	5,788	6,163
輸出入合計 (実入り)	6,060	6,002	7,373	8,742	11,532
①輸出入合計 (空コンテナ含む)	9,429	9,463	11,367	13,812	18,046
②国内又は国際フィー ダー貨物	622	751	958	1,022	164
①+② 総合計	10,051	10,214	12,325	14,834	18,210

八代港コンテナ取扱量の推移 (H22~H26)



○平成 26 年八代港コンテナ取扱量は 18,210TEU で、過去最高の取扱量となった。

データで見る管内の現況

観光

■観光入込客数の状況

(資料) 熊本県観光統計

(単位：人)

	H21	H22	H23	H24	H25
県南管内計	8,397,256	8,152,809	8,302,038	9,668,885	9,694,994
日帰り	7,808,660	7,580,565	7,732,631	9,040,651	9,078,038
宿泊	588,596	572,244	569,407	628,234	616,956
八代管内計	3,334,896	3,340,396	3,257,509	3,469,503	3,628,623
日帰り	3,135,838	3,118,480	3,049,101	3,243,123	3,409,204
宿泊	199,058	221,916	208,408	226,380	219,419
芦北管内計	1,941,478	1,865,300	1,796,392	2,767,449	2,800,221
日帰り	1,812,733	1,751,451	1,682,422	2,610,099	2,656,440
宿泊	128,745	113,849	113,970	157,350	143,781
球磨管内計	3,120,882	2,947,113	3,248,137	3,431,933	3,266,150
日帰り	2,860,089	2,710,634	3,001,108	3,187,429	3,012,394
宿泊	260,793	236,479	247,029	244,504	253,756
県計	59,138,629	57,237,563	58,061,797	59,196,119	61,189,335
日帰り	52,757,406	50,770,494	51,469,030	52,562,046	54,350,570
宿泊	6,381,223	6,467,069	6,592,767	6,634,073	6,838,765

観光客の推移

(単位：人)



データで見る管内の現況

■ 県全体に占める県南管内のシェア (資料) 熊本県観光統計

	H21	H22	H23	H24	H25
県南管内計	14.2%	14.2%	14.3%	16.3%	15.8%
日帰り	14.8%	14.9%	15.0%	17.2%	16.7%
宿泊	9.2%	8.8%	8.6%	9.5%	9.0%
八代管内計	5.6%	5.8%	5.6%	5.9%	5.9%
日帰り	5.9%	6.1%	5.9%	6.2%	6.3%
宿泊	3.1%	3.4%	3.2%	3.4%	3.2%
芦北管内計	3.3%	3.3%	3.1%	4.7%	4.6%
日帰り	3.4%	3.4%	3.3%	5.0%	4.9%
宿泊	2.0%	1.8%	1.7%	2.4%	2.1%
球磨管内計	5.3%	5.1%	5.6%	5.8%	5.3%
日帰り	5.4%	5.3%	5.8%	6.1%	5.5%
宿泊	4.1%	3.7%	3.7%	3.7%	3.7%

データで見る管内の現況

基盤整備

■道路改良率

(資料) 道路施設現況調査 (平成 27 年 4 月 1 日現在) (単位%)

道路種別	一般国道 (県管理路線)	主要地方道	一般県道	計
八代地域	83.3	66.7	50.6	60.9
芦北地域	100	76.0	47.5	61.8
球磨地域	92.4	78.3	50.9	71.0
県 計	94.9	77.1	56.4	72.2

■河川整備状況(法河川)

(資料) 河川整備現況調査 (平成 25 年 4 月 1 日現在)

区分	要改修延長 (Km)	改修済み延長 (Km)	整備率 (%)
管内計	403.3	184.7	45.8
八代地域	95.1	47.9	50.3
芦北地域	113.8	36.4	32.0
球磨地域	194.4	100.4	51.7
県 計	1,479.8	779.0	52.6

■河川整備状況(河川全体)

(資料) 河川整備現況調査 (平成 25 年 4 月 1 日現在)

区分	要改修延長 (Km)	改修済み延長 (Km)	整備率 (%)
管内計	502.1	229.1	45.6
八代地域	106.2	52.6	49.5
芦北地域	127.0	41.7	32.8
球磨地域	269.0	134.9	50.1
県 計	2,074.3	1,011.3	48.8

注) 改修済み延長は 60 mm/h 対応整備延長 (Km)

注) 法河川は一級、二級河川の合計、河川全体は一級、二級、準用河川の合計

データで見る管内の現況

■土砂災害危険箇所整備率

(資料) 熊本県砂防課 (平成 25 年 4 月 1 日現在)

危険箇所	土石流危険渓流			地すべり危険箇所			急傾斜地崩壊危険箇所		
対策事業種別	砂防事業			地すべり対策事業			急傾斜地崩壊対策事業		
対策箇所	土石流危険渓流ランクⅠ	うち概成箇所	整備率(%)	地すべり危険箇所	うち概成箇所	整備率(%)	急傾斜地崩壊危険箇所ランクⅠ	うち概成箇所	整備率(%)
八代地域	241	55	22.8	13	8	61.5	197	44	22.3
芦北地域	313	51	16.3	2	1	50.0	310	76	24.5
球磨地域	177	47	26.6	3	2	66.7	170	64	37.6
県計	2,120	415	19.6	107	56	52.3	2,793	712	25.5

注1：土砂災害とは、土石流、地すべり、急傾斜地崩壊を総称した災害

注2：「土石流危険渓流ランクⅠ」とは、人家5戸以上等に流出する恐れがある土石流危険渓流

注3：「地すべり危険箇所」とは、地すべりの発生する恐れのある箇所で、地すべり防止法第51条に基づく国土交通大臣所管となりうるもの

注4：「急傾斜地崩壊危険箇所ランクⅠ」とは被害想定区域内に人家5戸以上等がある箇所のうち要対策箇所

注5：「概成」とは、危険渓流や危険箇所において概ね災害防止施設が整備されている状態で、詳細は以下のとおり

- ・土石流危険渓流では、砂防えん堤が1基以上設置されている渓流
- ・地すべり危険箇所及び急傾斜地崩壊危険箇所では、想定される現象に対する防止施設が整備されている箇所

■汚水処理人口普及状況

(資料) 熊本県下水環境課 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

区分	住民基本台帳人口(人)	汚水処理人口(人)	汚水処理人口普及率(%)	下水道処理人口(人)	農業集落排水施設等整備人口(人)	住宅用途合併浄化槽等設置済人口(人)	コミプラ処理人口(人)
八代地域	145,586	92,016	63.2	67,998	2,155	21,863	0
芦北地域	51,359	32,814	63.9	13,800	4,053	14,961	0
球磨地域	94,628	75,993	80.3	52,045	8,852	15,096	0
県計	1,825,361	1,500,136	82.2	1,172,514	76,887	250,225	510

注：「汚水処理人口普及率」とは、下水道、農業集落排水施設等、合併処理浄化槽等、コミュニティプラント(コミプラ)の汚水処理人口を行政人口(住民基本台帳人口)で除した指標

データで見る管内の現況

■南九州西回り自動車道の整備

◇南九州西回り自動車道

南九州西回り自動車道は、八代市を起点とし、水俣市、薩摩川内市を経て鹿児島市に至る全長140キロメートルの国直轄で整備する高規格道路です。このうち熊本県側の約50キロメートルにつきましては、八代河川国道事務所が整備を行っています。

また、既に供用されている道路は、熊本県南の沿岸地域の農作物、水産物の効率的な物流、救急医療活動など様々な場面でくらしや産業、経済の支えとなるとともに、災害時には広域幹線道路の機能強化にもつながり、地域の安心・安全に大きく貢献しています。



※熊本県内の整備状況図(H27.4月時点)

◇整備の進捗と今後の計画

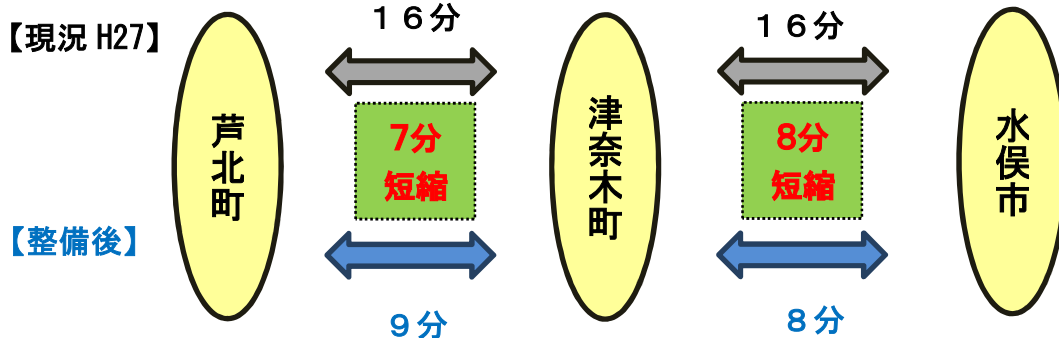
区間	状況	時期
八代 JCT～八代南 IC 間	供用開始	H13 年 10 月
日奈久 IC～田浦 IC 間	供用開始	H17 年 2 月
田浦 IC～芦北 IC 間	供用開始	H21 年 4 月
芦北 IC～津奈木 IC 間	供用予定	H27 年度
津奈木 IC～水俣 IC 間	供用予定	H30 年度



田浦 IC



芦北 IC



※九州地方整備局 HP 等より作成